

障害・慢性疾患のある学生への支援がさらに充実しました！

岐阜大学では障害や慢性疾患のある学生への支援をさらに強化するため平成26年8月に「障害学生支援室(通称:サポートルーム)」を設置しました。

「サポートルーム」には特別支援教育に詳しいコーディネーターが常駐し、授業・実験・実習で困っている学生や担当の職員を支えています。コーディネーターは学生の状況に応じて支援内容を検討し、ニーズを満たす合理的配慮を提供できるよう、学生の所属学部・研究科に対し専門的な助言や調整を行います。保健管理センター、就職支援室、学生支援課、留学生センター、そして外部専門機関等と連携して支援策を講じたり、紹介したりもしています。機関の枠を越えて綿密な連携がスムーズにできることは岐阜大学の強みです。

学生や職員を支え、誰もが安心して学べる大学づくりをさらに進めていきます！



サポートルームの主な役割

- ◎学生からの支援に関する相談
(どんな支援を受けられるか、どのような手続きをすればよいか)
- ◎支援計画の立案・助言
- ◎授業担当者への配慮願い作成のサポート
- ◎授業時及びシンポジウム等で情報伝達の補助が必要な参加者がいる場合の支援
(PCノートテイク、動画へのテロップ付加、拡大資料や点字資料の作成)
- ◎ピア・サポーターの養成と派遣



コーディネーター



教育推進・学生支援機構
 ふなこし こうじゅ
船越 高樹 特任助教

「障害の有無に関わらず、すべての学生が岐阜大学での生活を価値あるものとして人生の中に位置付けられるようにすること」それが私の目標です。昨年度の調査で本学では実に9%もの学生に障害や慢性的な疾患があることが分かっています。このすべての人が支援を必要としている訳ではありませんが、潜在的に困難さや不安を抱えている学生はかなりの数に上ります。こんなことで支援なんて…と思わずに、利用できる支援は利用して、ストレスなく自分の目標を達成できるようになることも生きる上での大事なスキルです。障害の有無、手帳や診断の有無で判断するのではなく、少しでも困難さや不安を感じたら気軽に相談を受けられるようにしています。

場所 大学会館2F TEL 058-293-3363 FAX 058-293-3036 MAIL shien@gifu-u.ac.jp
 WEB <http://www1.gifu-u.ac.jp/~shien/>

やさ茶を Present!



今後のよりよい誌面作りのため、皆様からのご意見やご要望をお待ちしています。岐阜大学広報誌「岐大のいぶきNo.33」に添付されたアンケートハガキでアンケートにご協力いただいた方の中から、**抽選で6名様**に「**やさ茶(500ml 4本)**」を進呈いたします。プレゼントをご希望の方は、アンケートハガキにお名前、ご住所、電話番号をご記入ください。

▶▶▶ プレゼント応募締切：
平成29年12月31日(日)必着
 ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。